

千葉大学子どもこころの発達教育研究センター /
千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学 主催
オンラインメンタルヘルス相談支援システムの
社会受容性シンポジウム
～「総合知」で創るこころの健康～

メンタルヘルス相談システムの 社会実装に向けた課題と今後の展開

2023年6月25日

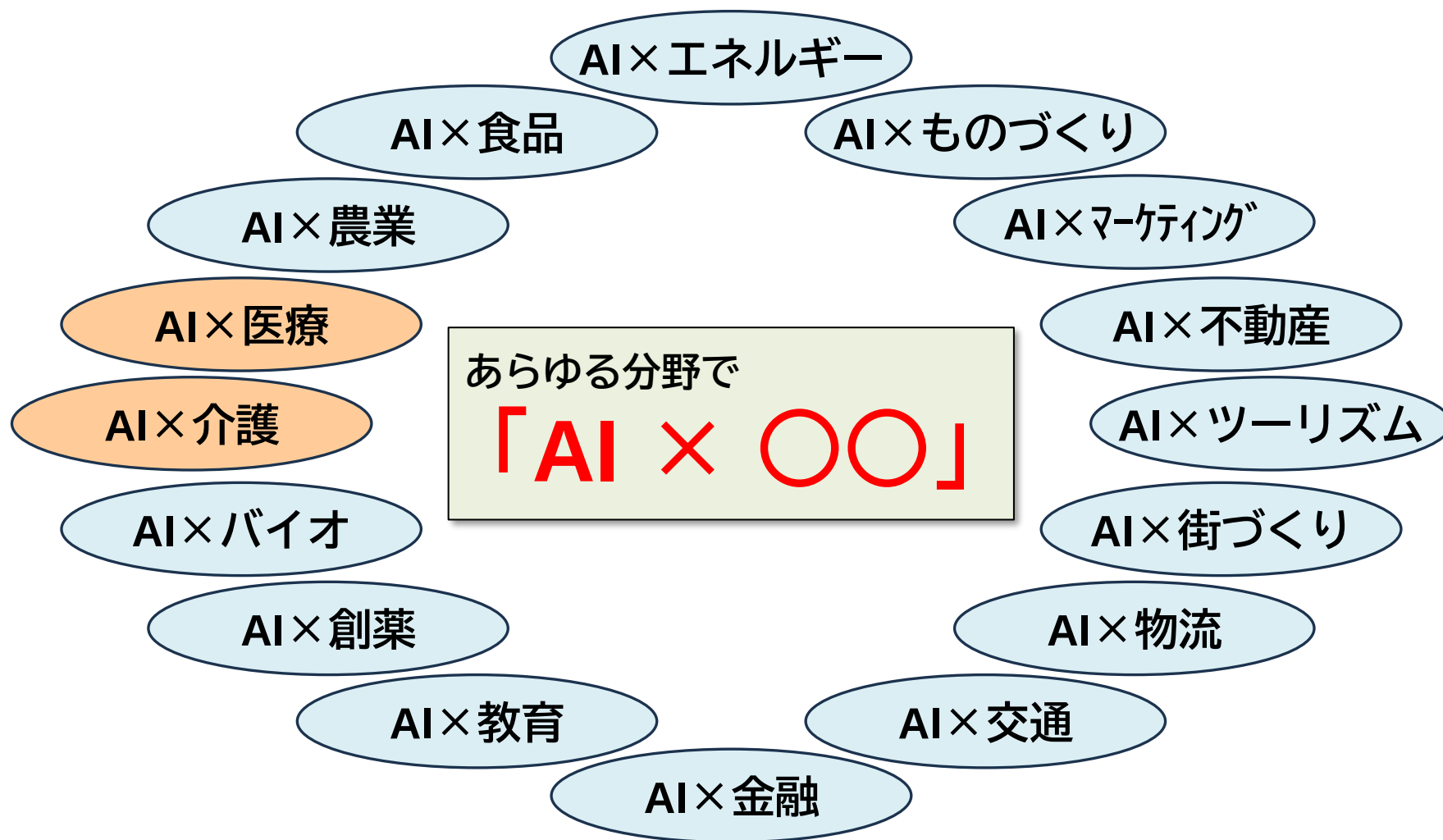
スタートアップ・技術移転推進部 研究支援グループ
イノベーション推進マネージャー

加藤 友章



科学技術振興機構

ICT・電子デバイス分野への申請内容のトレンド



いろいろな「ものさし」

■ 物理的・化学的な量

- いつ、どこで、誰が測っても同じ
- 科学的な裏付けのある定義

長さ



重さ



時間



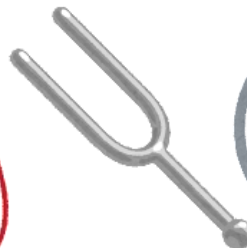
温度



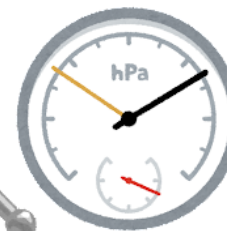
電圧・電流



周波数



圧力



■ メンタルの状態

- 「ものさし」は一人ひとり違う
- 科学的な裏付けに乏しい「目盛り」



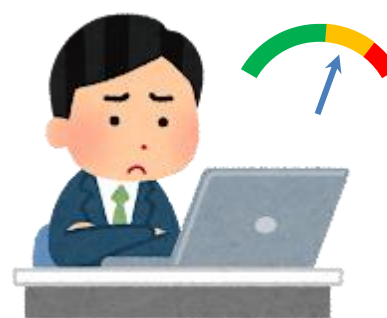
目標の契約件数に
届いてないよ！

もう1件とるぞ！

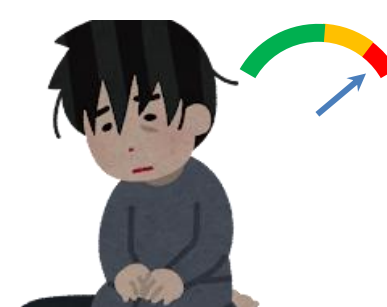
はっぱをかけた
つもりが..



無理だよ～



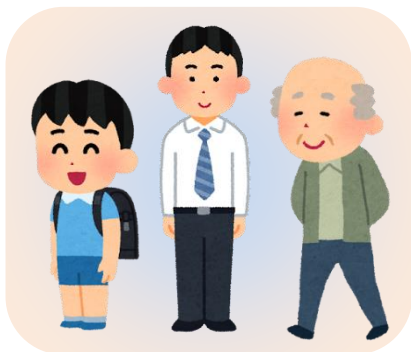
会社行きたくない・・・



「ものさし」は様々な要因で変わる

■ 年代、性別、社会的責任や役割、文化的背景等でも異なる

世代・年代・家族構成



性別



国・地域



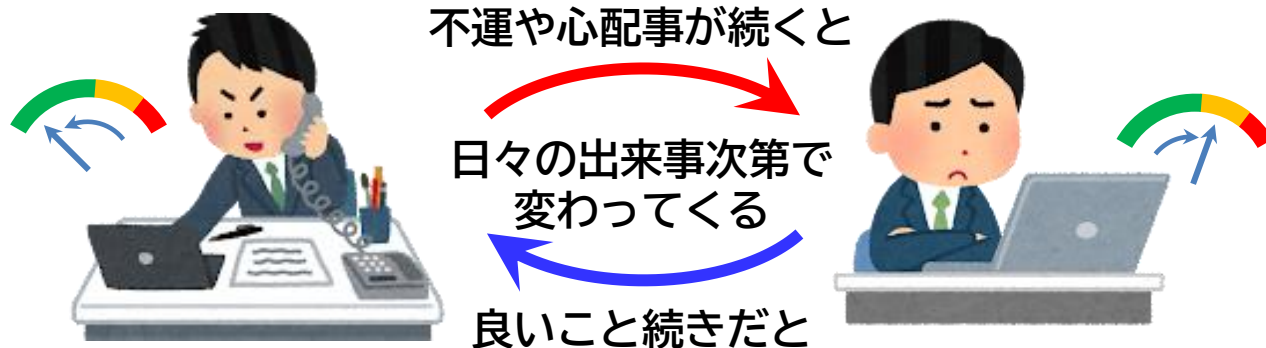
文化・思想・宗教



■ いつも同じじゃない

このところ絶好調！

最近ミスしてばかり・・・



メンタルを外から「測る」、「診断する」..

■ 「ものさし」の精度

物理量の例

磁束量子: $2.0678338484619 \times 10^{-15}$ Wb

陽子質量: $1.67262192369 \times 10^{-27}$ kg

電荷素量: $1.602176634 \times 10^{-19}$ C

- ・ 理論・実験の両面から検証されている
- ・ 高精度の測定機器が存在する
- ・ 測定機器の校正手法が定められている

メンタルの場合

定量性のある
絶対評価が難しい

せいぜい5段階（ひと桁に満たない）ぐらい



ストレス

■ 「診断」の正確さ

SNSで夜更かしは
控えましょうね

不眠症かも



お医者さんだって日々悩んでいる..

- ・ 因果関係がよく分からない
- ・ 診断基準が明快でない
- ・ 議論できる仲間が少ない/身近に居ない
- ・ 診察室で出来ることには限りがある
- ・ 診断後、どう治療したら良いか分からない
- ・ 治療に責任持てない/リスク負いたくない

ストレスをかけてしまう側のメンタル

■ 一部はメンタル不調(弱さ・不安・虚しさ等)が原因かも

いじめ・暴力



陰口・仲間外れ ネット上の誹謗中傷



パワハラ



- ・ 家庭、学校、職場で受けるストレス ⇒ はけ口、憂さ晴らし
- ・ 被害者意識等からの誤解、疑心案気 ⇒ 反発、報復
- ・ 境遇差への不満、嫉妬 ⇒ 他者の排除、同じ境遇同士で団結して得られる安心感
- ・ いじめられる側/仲間外れにされる側へ回る不安 ⇒ 同調
- ・ 小ささ・弱さ ⇒ 匿名で報復も無いネット上での虚勢、得られる一時的な優越感、自己の存在意義を肯定できる居場所への逃避
- ・ 非を認めたくない、責められたくない ⇒ 責任転嫁
- ・ 相手の立場で物事を考えられない、痛みを理解できない ⇒ 命令・強制

単に外への表れ方や表現方法が違うだけで、根は同じなのかも・・

周囲で支える人々のメンタルまで蝕まれる

■ 真面目で優しい人ほど思い悩み、抱え込み、孤立してしまう

親



- ・ 将来への不安
- ・ 逃げられない

担任の先生



- ・ 夢を叶えて就職した人が現実には直面・失望 ⇒ 休職・離職
- ・ 次代を担う人たちも年ごとに敬遠 ⇒ 知見が継承されず

上司・人事担当



福祉士・介護士



社会的
損失

- ・ ケアが必要な人/支える人ともに、**社会や組織での孤立**に繋がりがねない
- ・ 現実からの**逃避**(新興宗教、依存症など)

今までのような**血縁や人の善意に頼った支援には限界**



社会全体で支える体制
きちんと機能する仕組み



テクノロジーの利活用

テクノロジー利活用例(メンタルヘルス分野)

■ 認知行動療法にもとづくオンライン相談システム

- ・メンタル不調を**未病段階**で**早期発見**
- ・症状改善に役立つ**行動変容**を促すセルフケアメニューの提供



- ・原因
 - さまざまな内的・外的要因 (⇒きめ細かな問診)
- ・症状
 - ストレスの感じ方、影響の現れ方が人によって異なる (⇒データ蓄積)
 - 自らの症状を的確に説明できない (⇒言語解析)
 - 因果関係が十分解明されていない部分がある (⇒AI分析)
- ・診断/発見
 - 本人が気づかない (⇒未病レベルでの早期発見/診断)
 - 周囲に明かしたくない、他人に相談しにくい (⇒プライバシー保護)
 - 心療内科受診のしきいが高い (⇒プライバシー保護)
- ・治療
 - 最適なケアは人ごとに異なる (⇒症状に応じたケアのカスタム化)
 - 比較的長期にわたる自宅でのセルフケア (⇒通院負担軽減、データ蓄積)

メンタルヘルス関連データの取り扱い

■ 機微な個人情報が含まれる

- ・ 利活用の際は、**要配慮個人情報**として適切に取り扱う必要がある
- ・ AIテクノロジーの**倫理的な側面**についても慎重な議論が必要

要配慮個人情報（法第2条第3項関係）

この法律において「要配慮個人情報」とは、本人の人種、信条、社会的身分、**病歴**、犯罪の経歴、犯罪により害を被った事実その他本人に対する不当な差別、偏見その他の不利益が生じないようにその取扱いに特に配慮を要するものとして政令で定める記述等が含まれる個人情報をいう。

個人情報保護委員会: 個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）
https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/guidelines_tsusoku/#a2-3

※ここで言う「病歴」には、

- ・ 身体・知的・精神障害、**医師等による**健康診断/遺伝子検査結果、保健指導、診療・調剤情報などが該当
- ・ メンタルヘルス相談アプリの**個々の設問への回答内容**も（**医師等による診断が確定する前の健康関連情報**だが）これに準ずるものとして同様に配慮すべき

信頼されるデータ利活用事業者として果たすべき責任の例

responsibility fulfilled as business operator 事業者として果たすべき責任 transparent 透明性を保つ & explain ひたすら説明する	handling 取り扱い clear 明確に	collection 取得	identities of operator/partners, outsource/subcontract, occasion/period, location, media/method, installer, data owner, contents/attribute 事業主体/協力企業、委託/請負、機会/期間、場所、媒体/手段、設置者、データ所有者、取得内容/属性
		use 利用	purpose(social issue/approach/limitation), user, benefit, beneficiaries, transfer, location 利用目的(社会課題/手段/限定)、利用者、利点、受益者、転送、利用場所
		quality 品質	accuracy, nature of process, data integrity, warranty, lifetime, (correction of inaccurate data) 正確性、加工の特徴、データ完全性、保証、ライフタイム、(不正確なデータの修正対応)
		security 安全性	organization, operator, authorization, tamper-proof, encryption, audit(internal/contractors), traceability 組織体制、操作者、認証、改竄防止策、暗号化、監査(内部/委託先)、トレーサビリティ
		share/disclose 第三者共有/開示	intended recipients, cross-border transfers, response to law enforcement, business transfer 受取人、越境、法執行機関からの開示請求対応、事業譲渡
	procedure 手続き fair 公正に	compliant ルールを遵守する	laws, regulations, rules, guidelines, technical standards 法律、規制、ルール、ガイドライン、技術標準
		notify 告知する	intended recipients, occasion/period, media/method, contact information, benefit/loss(risk) 対象者、機会/期間、媒体/手段、問合せ窓口、利益/不利益(リスク)
		honest 誠実に対応する	handling/procedure, response to inquiry, (disclose benefit/loss(risk)) 取り扱い/手続き、問合せ対応、(利益/不利益(リスク)の開示)
		consent 同意を得る	contract, opt-in/opt-out, acquiree's choice in collection/purpose/share 契約、オプトイン/オプトアウト、収集/利用目的/第三者共有に対する被取得者の選択肢
		assess 評価する	self check, review/certification by 3rd party, judging criteria for outsource/subcontract 自己点検、第三者レビュー/認証、委託/請負の審査基準
		adapt (変化に)適応する	revise/update respond to changes of technologies/social acceptability/business conditions 技術/社会受容性/事業環境の変化に応じた改定/更新
	ethics 倫理 respect 尊重する	human rights 人権	fairness, privacy, diversity, accuracy(fact/truth), (confidentiality) 公平性、プライバシー、多様性、正確性(事実/真実)、(秘密性)
		choice 選択する権利	collection, use, share, history(right to be forgotten) 収集、利用、第三者共有、履歴(忘れられる権利)
		access 知る権利	collection, use, share, disclose to law enforcement, cross-border transfer, history, affiliation 収集、利用、第三者共有、法執行機関への開示、越境、履歴、加盟団体
		litigate 訴える権利	unintended/non-consented use, human rights violations 目的外/不同意の利用、人権侵害
	literacy 理解・活用力 properly 正しく	guide 教育する	subject(employee/business partners/resellers), content, certificate, license, job/position assignment 対象(社員/協力会社/販売店)、コンテンツ、認定、資格、職務/職位の割り当て
		practice 実践する	planning, design, development, production, advertising, sales, operation/support 企画、設計、開発、製造、広告、販売、運用/保守
		enlighten 啓発する	subject(stakeholders/medias/academia/legal, etc.), benefit/loss(risk) 対象(ステークホルダ/メディア/学術関係者/法律家等)、利益/不利益(リスク)

社会全体で支える体制・機能する仕組みの構築

- 医療・福祉・介護関係者や研究者以外の人々の協力が不可欠
 - ・ 医療・福祉・介護関係者や研究者に閉じた対応では**出来ることに限界**
 - ・ **実態にあった機能する支援**へ繋げるには**市民目線・現場目線**が必須
 - ・ 公的支援体制確立には**法的根拠**や**財源**、国を動かす**世論の形成**が必要

Stakeholder Engagement

組織が下す決定によって影響を受ける可能性のある人々、
または決定の実施に影響を与える可能性のある人々
(すなわち利害関係者)を、組織が関与させるプロセス

あらゆる利害関係者（＝この場合は国民）を**当事者として巻き込み**
みんなで知恵を出し合い、議論していくことが大切

支える体制・機能する仕組みの社会実装

■ 「診察室の外」に居るステークホルダーの関与が不可欠

(例)発達障害児の支援



コミュニティ

地域見守り



親の勤務先

柔軟な
就労規定



自治体

公的支援の一次窓口



支援NGO・NPO

公的支援
の補完



企業

研究開発
事業化
ELSI対応



府省・監督官庁

基本計画・研究開発戦略
予算・監査



アカデミア・医師等

基礎研究
診断基準
人材育成
資格認定
社会受容性



業界団体

ガイドライン
技術標準
認証



立法府

公的支援の法的根拠・財源



弁護士・政策NGO

社会受容性
政策提言
ELSIコンサル



メディア

情報発信
市民啓発
世論形成



今後、必要と考えられること (1)

■ もっと前に知っていたら、上手く対処できていれば・・

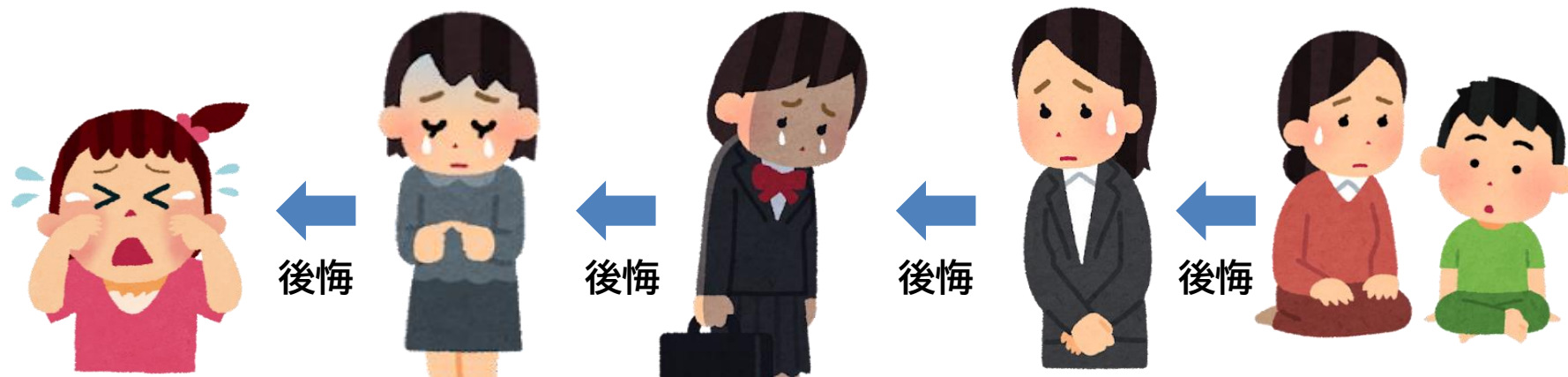
幼稚園の頃に
知っていたら・・・

小学生の頃に
知っていたら・・・

中学生の頃に
知っていたら・・・

高校生の頃に
知っていたら・・・

結婚前に
知っていたら・・・



人との接し方/メンタル不調時のセルフケアについて正しい知識や経験があったら、
もっと上手く対処できていた/違う人生を歩めていた（かもしれないのに・・）



- ・ できるだけ早い時期（小・中学生時代）に正しい知識を身につけさせる
- ・ 「**居場所**」を見つけられるようにする手助け

今後、必要と考えられること（2）

- インセンティブ（アプリ利用が診療報酬に繋がる仕組み）
- ビジョナリーリーダー（先を見通し、ステークホルダーを巻き込んで当事者にし、彼らを導いて行く力量）
- 透明性の高い議論ができる座組（勉強会・協議会・コンソ等）
- 調査研究活動⇒政策提言



あなたの立場で
何ができますか？